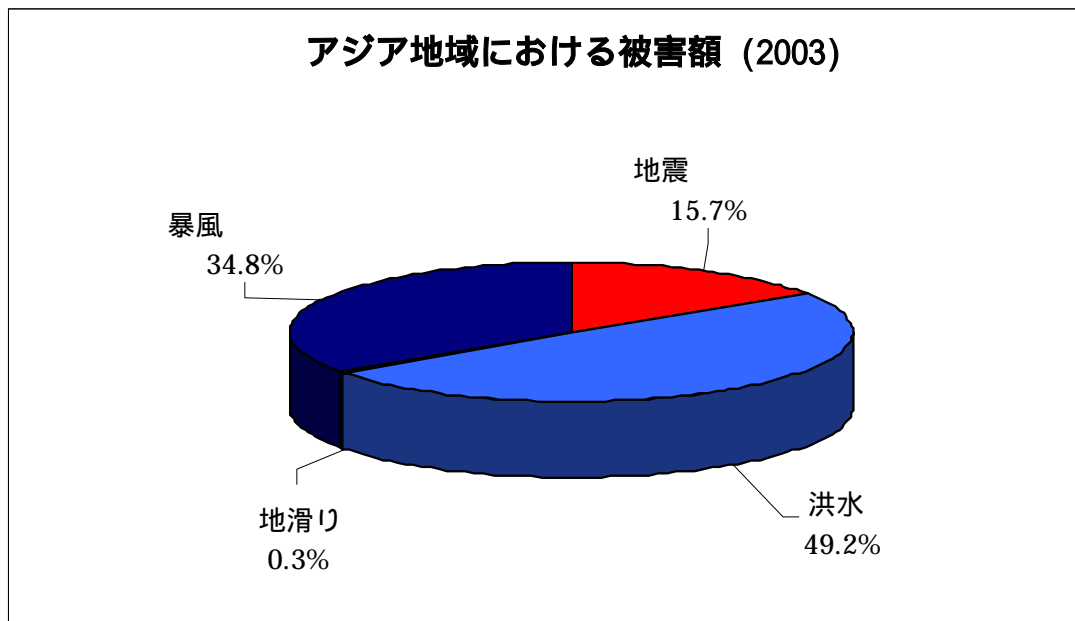


図 38

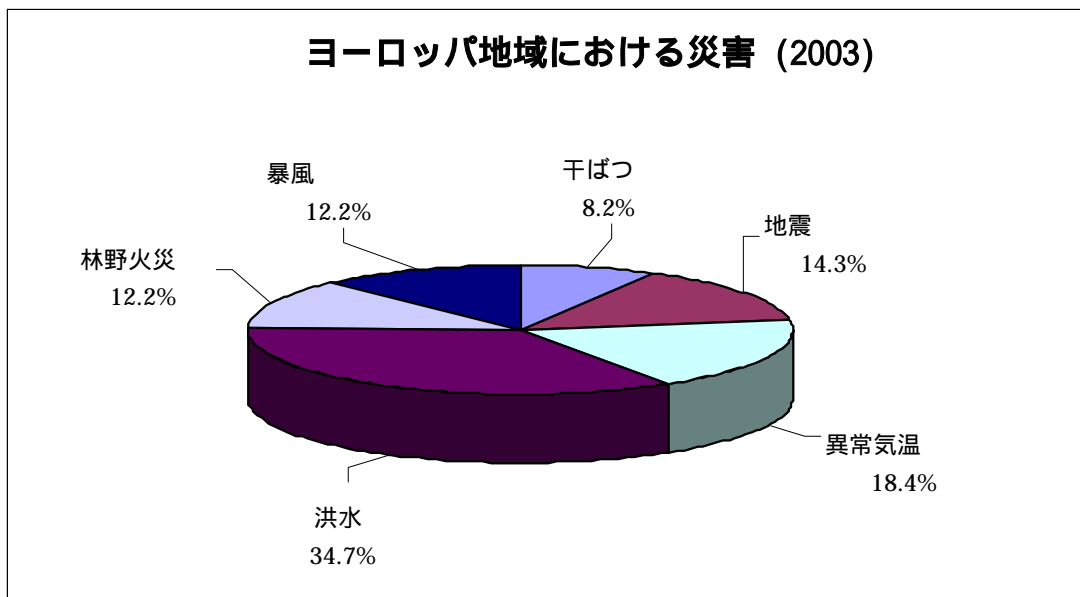


出典：アジア防災センター、CRED-EMDAT（ルーベンカトリック大学・ベルギー）2003年

### 3.2.4 ヨーロッパ地域の特徴

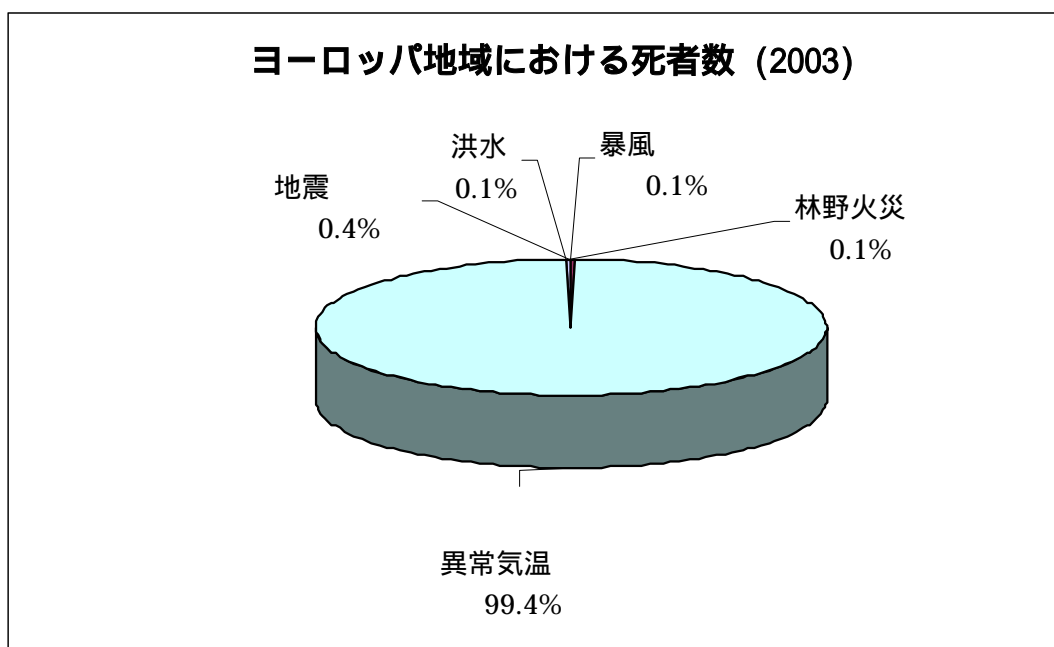
2003年のヨーロッパは、2002年の大洪水に引き続き困難な一年となった。以下の図39～42にみられるように、異常気温（熱波）とその結果生じた干ばつにより、多くの人々の生命が奪われた。図39によれば、2003年に発生した災害は、洪水と異常気温で、全体の53%を占めている。死者数については、図40に示したとおり、異常気温（熱波）が原因のものが多数を占めた。これらの災害だけで、2003年のこの地域における死者数の99%を占めるに至った。さらに、図41にあるように、被災者のうち95%が干ばつによるもので、昨年とは対照的な様相を示した（2002年は、洪水による被災者が84%であった）。また、図42からは洪水がこの地域の経済活動に大きな影響を与えたことがわかる。2003年のヨーロッパ地域は、昨年度と同様、気象災害により深刻な被害をもたらされたといえる。

図 39



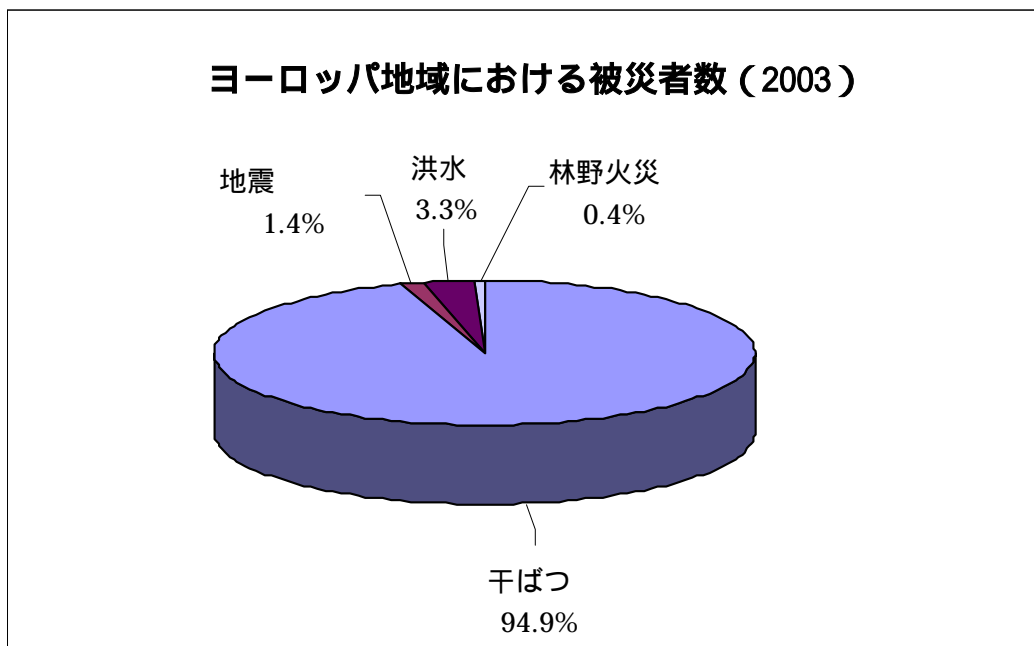
出典：アジア防災センター、CRED-EMDAT (ルーベンカトリック大学・ベルギー) 2003年

図 40



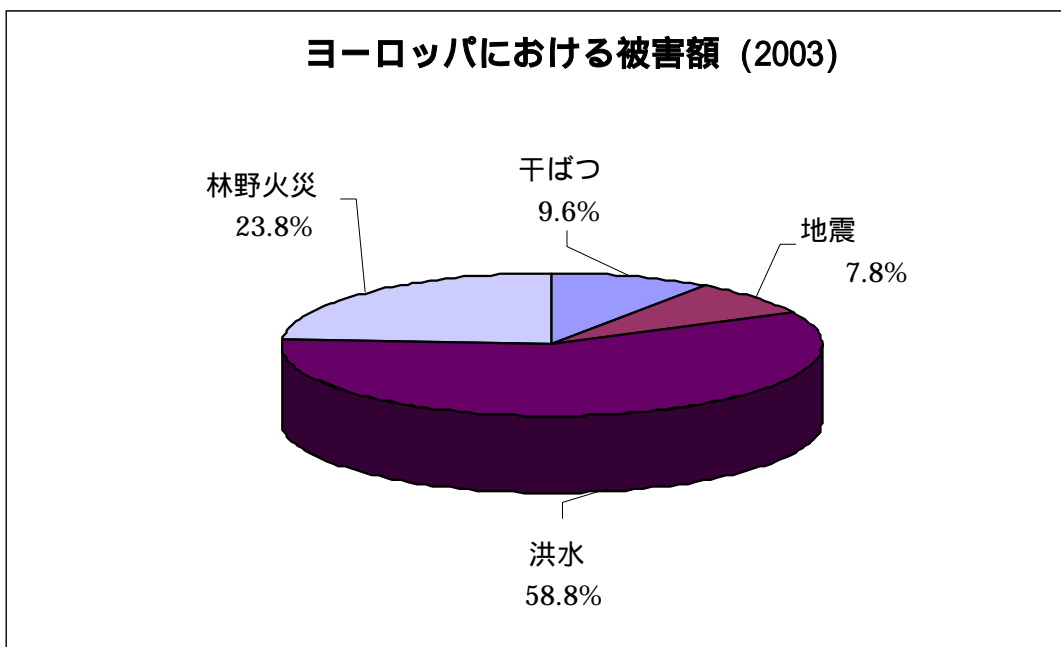
出典：アジア防災センター、CRED-EMDAT (ルーベンカトリック大学・ベルギー) 2003年

図 41



出典：アジア防災センター、CRED-EMDAT (ルーベントリック大学・ベルギー) 2003年

図 42



出典：アジア防災センター、CRED-EMDAT (ルーベントリック大学・ベルギー) 2003年